



### 低侵襲手術で体に優しい



体に負担の少ない低侵襲手術ですが、個々の患者さんに合わせて手術法を選択しております。腎臓腫瘍に対しては、腹腔鏡下手術・ロボット支援下手術のいずれも実施しております。膀胱腫瘍に対しても、内視鏡手術を行っております。小さな膀胱腫瘍は、尿の出口から細い膀胱鏡を挿入しておなかを切らずに切除しております。大きな膀胱腫瘍に対しては通常、膀胱を全部摘出する大手術が必要で、従来法では、おなかを大きく切るため、患者さんの負担も非常に大きなものでした。しかし、施設認定を取得し、現在はおなかに穴をあけるだけの腹腔鏡下手術が可能となりました。この半年間で4名の患者さんに腹腔鏡下の膀胱全摘除術を行いました。

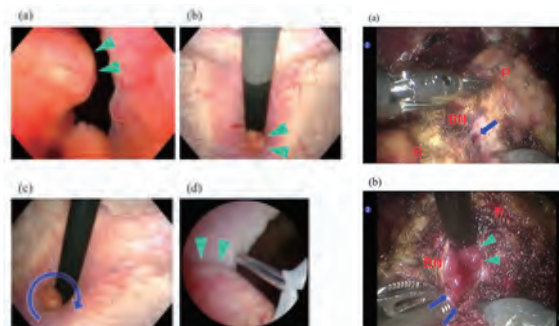


### 患者さんに合わせた手術方法を

前立腺癌に対しては、ロボット支援下手術が2012年4月から保険適用となりました。この半年間で27名の患者さんにロボット支援下手術を実施しております。患者さん一人一人の病気の状態に合わせて、ベストを尽くせるように工夫しております。今回、その工夫の一つが世界でも認められ、イギリスの科学論文に掲載されました。



▲イギリスの科学論文



▲膀胱内から前立腺がんの境界をマーキング

▲膀胱外からダヴィンチでマーキングまで切開

名古屋徳洲会総合病院で、信頼できる治療、最新の治療を受けていただけるようこれからも務めてまいります。よろしくお願いいたします。